こすど公民館報
所発行　小須戸町公民館
発行人　間野良知
発行日　毎月15日
一部5円
印刷所　昭栄堂印刷所

栄ある表彰

かくれた善行や功績に対して

とかく自己本位、物欲にのみきゅうきゅうとしている現代世相であります。　そうした中にあって、ひたすら世のため人のために奉仕をつづけられ、あるいは金品を寄附された篤志の方々が、それぞれの関係機関から表彰されました。　ここに深く敬意と謝意を表してご紹介いたします。

社会福祉係関

八月二十日、白根市老人福祉センターで二市一郡（中蒲、五泉、白根）社会福祉大会が開催されその席上で左記の方が々表彰されました。

特別功労者（敬称略）

金沢啓吉　ヤチヨ
かつて館報誌上でご紹介しました、隣人愛に燃をた尊い奉仕活動によるものであります。

小須戸町仏教会

歳末助け合いの托鉢行実践と、その浄財を献金されたことによるのであります。

保科要吉　矢代田
五十嵐徳次　泉町
五十嵐重雄　うでこき
田巻兵之助　神明町
細井キヨ　新保
お家族ご逝去の際、そのご供養の意味で多額の金円をご寄附になったことによるものであります

永年勤続者

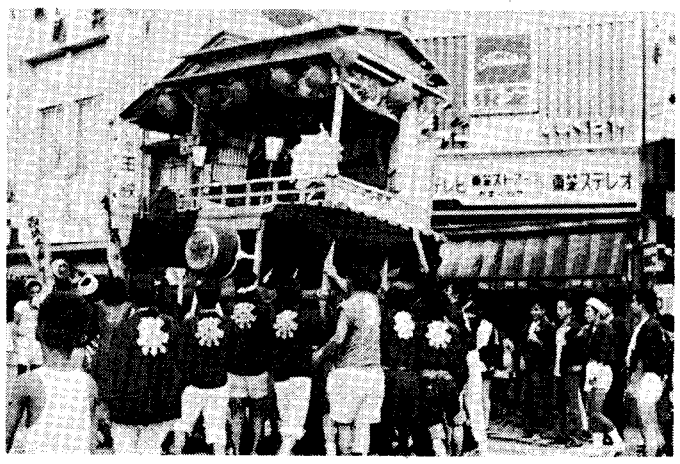
田沢清作　矢代田
松尾セツ　鎌倉
白井ミサヲ　横川
いずれも民生委員として、十年間余の長期にわたりご奉仕をつづけておられる功績によるものであります。

交通災害共済関係

小須戸町連合婦人会
八月十日、新潟県交通災害共済組合渡辺浩太郎の名において、同制度につき地域住民の加入促進に努め、優秀な成績をあげたことが讃えられたものであります。

PTA関係

木村敬三郎　水田
長期にわたり小須戸中学校PTA役員として、



燈籠祭り

出雲町　我妻清作

古き代を今に伝えて懐しき
小須戸の町の燈籠祭り
御神興に供える華の燈籠を
町の若衆は競えて揉みぬ
しみじみと心とけ合う踊りの輪
老えも若衆も一つになりて

第三日曜日は家庭の日です　一日楽しくすごしましょう

又会長として多くの実績をあげられ、更に県PTA連絡協議会の理事としても尽粋された功労に対し同会長より表彰されたのであります。

社会体育係関

平間福治　天ケ沢
森山　登　三番町
さる七月一九～二一日にわたり、中条町で開催された県社会体育指導委員大会で、県表彰をうけました。
長期間、社会体育指導委員として地域スポーツの振興につくされた、その業績と功労に対するものであります。
以上栄誉にかがやく皆様、今後ともそれぞれの面で一段のご活躍あらんことをお祈りいたします

としよりとこどもを守ろう!!

秋の全国交通安全運動

学校の長い夏休みも終り平常どおり子供たちが登校するようになり、これから秋の行楽シーズンの到来と相待って交通事故の多発期をむかえますこの事故の多発期に一件でも事故を少なくするために恒例の秋の全国交通安全運動が文字どおり全国的な規模で展開されます。

準備期間は九月一日～九月二十日
実施期間九月二十一日～九月三十日
であります、最近の事故については統計によると歩行者とくに幼児、小学校低学年児童ならびに老人が事故の悲しい被害者になる例が非常に多くなっております、そこで今度実施される安全運動にはこれら交通上の弱者である幼児、児童、老人を交通事故から守ることを重点目標としてかかげられました。運動を実施するに際しては具体的には

一、「敬老安全の日」の設定
二、スクールゾーンの整備充実
三、子供や老人に対する交通安全教育の充実強化
四、運転者、雇用主等に対して子供と老人に対する保護意識の高揚と安全運転の励行の徹低等を主要施策として運動が展開される予定になっております。

交通安全教育は幼児の頃から行ない習慣として身につけさせなければ効果は期待できないと思います。
例えば子供の道路への飛び出し事故が小須戸町でも多発しておりますが子供たちに飛びだし行為の危険な事は十分知っているのですが、とっさの場合に忘れてしまうのです、根気よく安全教育を続け、習慣として身につけさせる必要が痛感させられます。
安全運動も恒例のためマンネリ化の傾向がありますが、今度の安全運動の重点目標を効果的に行うことのできるようなよいアイデアーがありましたらご意見をお寄せくださればありがたいと思っております。
安全運動の効果があがり小須戸町から交通事故をなくすることのできるようにお願いします。

小須戸幹部派出所長　北島　正二

長寿大学クラブ案内（家庭科クラブ）

みんなで参加を　今年の運動会

年々スポーツ熱があがってきていますが、今年も春から各種のスポーツに関する行事が行なわれたり、又、計画されています。
その総合体育祭とも言うべき町民運動会が開催されます。
日頃の運動不足の解消に、また普段スポーツをやっておられる人達はその修練の成果を存分に発揮して下さい。
各分館対抗で行なわれますが、種目は幼児から老人まで巾広い年代の方々に喜んでいただけるように組んでありますし、自由種目もたくさんありますので、ご家族お揃いでご参加下さい。
チームカラーは次のとおりです。
○天ケ沢鎌倉・緑○矢代田青○新保竜玄・白○横水・黄○町部下・赤○町部上・ピンク
又、今年から年代別リレーの他に、網引き競争にもトロフイーを出したいと思いますので頑張って下さい。

◇大会要項
日時　十月十四日（日）
午前九時開会
場所　中学校グランド
本部及び応援席は中学校舎側
その他
◎町部は、横町、出雲町土提住吉町を上組に含め、以下ウデコキ、下興野までが下組です。
◎当日の朝七時半に花火を打ち上げますが、中止の場合は上げません
◎雨天の場合は一週間延期します。二十一日も雨の場合は　町民体育館で「体力テスト」を行ないます。
これは、年令別全国平均数値と皆さんの体力とを比較ししみるテストです。この他に屋内軽スポーツによるレクリエーションも計画しておりますので、万一雨天の場合は町民体育館へおいで下さい。
（明細は町だより等でお知らせします）

分館だより

新保分館

◎分館職員改選の結果左記の通り決定
分館長　川瀬弘一　再
副分館長　川瀬三次　再
大貫泰弘　新
主事　古田恒雄　再
◎懸賞民踊大会
八月十四　五日夜開催
主催新保青年団　後援分館。
老若男女多数参加盛会であった。
◎料理講習会
八月二十二日、新津保健所のキッチンカーをむかえ、栄養食について話と実習。
参会者約四十名
◎親子映画会
八月二十六日夜開催
「鯉のいる村」「バレーボール教室」を上映す。
観覧者約百名の盛況

矢代田分館

さる八月二十六日矢代田分館で、住民こぞって楽しい運動会を行ないました。老人から、こどもまで元気で一日楽しくすごしました。　順位は次の通りでした。
一位　矢代田Bチーム
二位　矢代田Aチーム
三位　天ケ沢　チーム
四位　鎌　倉　チーム
応援の部
一位　天ケ沢　チーム
二位　矢代田Bチーム
三位　矢代田Aチーム
四位　鎌　倉　チーム
尚この運動会で、つぎの方々から、ご協力をいただきありがとうございました。（順不同）
小須戸農協　様
竹井機器KK　様
村祐産業　様
信濃建材　様
第四銀行　様
新潟相互　様
協栄信用　様
荒木自転車店　様
平間商店　様

小須戸分館

親子サイクリングを計画　護摩堂山ハイキングをかねて。
とき　十月二十一日
集合　役場前　午前九時

続小須戸風土記

横川浜の名主（二）

柏　大治

横川浜名主を年表にしてみると
元和六年きも入惣右工門
元和七年きも入宗右工門
寛永十一年きも入惣右工門
慶安三年きも入惣右工門
天和三年きも入惣右工門
貞享元年きも入平　介
元禄十五年　名主平　七
享保三年　名主長沢平七
長沢名主は荻島村へ転村になった。
享保四年名主藤田善兵衛
享保八年名主　善七郎
寛政五年名主宇野善兵衛
寛政七年名主宇野善兵衛
人家　六十九軒
文化二年名主宇野善兵衛
文化三年　名主宇野賑吉
文化五年名主宇野善兵衛
享和三年主名宇野善兵衛
天保四年名主宇野善兵衛
嘉永五年名主　宇野幸平
安政四年名主　宇野清太
安政六年名主　宇野清太
明治二年名主　宇野清次
以上で、宇野名主は小須戸組の結新田開発白姓であったが享保四年に横川浜村の名主役に取立られ七右四斗余之田畑を頂いて明治初年までつづいた
また横川浜の長沢家は荻島名主長沢氏の先祖兄弟で系図書其の他、かずおおくの文献を保存されている。これで一応徳川時代の為政者小須戸町の庄屋　名主　の概要を記述したのであるが、いままでの中で小々わかりにくい点について説明しておく。
○旧名主、　加判名主
その村の名主が若く重要な問題に相談にくわわる名主。
○独御礼
名主の資格で独りで藩主に正月などに御礼のできる名主。
○切立名主
その村の開発名主
○神文名主
神仏に誓を立て、いわば宣誓書を提出した名主
○社講名主
新発田藩は学問に熱心で看楽堂を設けたが、朱子学で山崎闇斉が後に垂加神道の一派を立てた闇斉の尊皇愛国の思想を持って教育方針としているから、藩校出身者で組内の教育上の問題に庄屋を補佐した名主で寺子屋のかんとくもした。
○小頭格
組内の庄屋につぐ名主の中の小頭格のこと。
○名主見習、庄屋見習
親が高年令で伜が補佐役に当った。
○名主帯刀御免
功績のない名主は名主或は帯刀の許可がなかった
○兼帯庄屋
自分の組の庄屋を勤め他の組の庄屋が休役になった場合その組も兼ねること。
次は新発田藩の構成について記す。

スポーツでがんばり体力づくり

各種スポーツ大会に参加

さる七月五日からはじまった、中学校の各種体育大会は、各地域で善戦をしてきましたが、日頃の部活動や地域の指導によるものです。

しかしざんねんながら県大会で優勝する種目は一つもなかった。が、これからの練習にかけて、明年のために、心あらたにして、勉強と体力づくりのために、がんばってもらいたいものです。

三市中蒲総合体育大会

(七月五・六日)

柔道(白根中)
男子団体　三位
個人　重量級　二位　有川　祐史
〃　軽量級　三位　山本　宏
〃　徳永　誠

剣道(小合中)
男子団体　二位
女子個人　五位　高山　智子
六位　石井　雅代
男子個人　二位　風間　久佳
三位　五十嵐　淳
五位　東樹　秀高

卓球(小須戸中)
男子団体　三位
女子団体　二位
男子個人　一位　横山　俊樹(県大会へ)
二位　青木　敦志(県大会へ)
三位　蓑和　均
横山　朝生
女子個人　一位　藤田千恵子(県大会へ)
二位　丸山　薫(県大会へ)
三位　川瀬　順子
岡田　智子

庭球(亀田中)
男子団体　一位
女子団体　一位
女子個人　一位　斉藤　大塚組(県大会へ)
男子個人　二位　柴沢　坂井組
三位　小平　高橋組

陸上(村松)
走巾跳　二位　4m32　五十田留美子
砲丸投　二位　10m3　高野ひとみ
走高跳　二位　1m33　大貫　尚子
六位　1m25　矢部　信子
低学年女400mリレー　六位　一分〇五秒四

中学校対抗大会　(村松グランド)

新潟地区総体

七月二七・二八日

柔道(新津一中)
重量級　三位　有川　祐史(県大会へ)
軽量級　三位　山本　宏(県大会へ)

剣道(白根小)
女子団体　三位
男子個人　四位　佐藤　由樹(県大会へ)
女子個人　五位　高山　智子
庭球(新津一中)
男子団体　二位
男子個人　一位　柴沢　坂井組
女子個人　五位　斉藤　大塚組

新潟県総体(長岡)

柔道(長岡東中)
軽量級　四位　山本　宏
庭球(長岡高・長岡大手高)
男子個人　四位　柴沢　坂井

老人問題雑感(一)

佐藤五郎

世の中は娘が嫁と花咲いて、かかとしぼんで、ばばと散りゆく。つまり人間は必ず年寄りになるのだから、老人問題は今の若い人たちがもっと真剣に考えなければいけないのだ。若者がやがて老人になるということは自然の現象であって誰にでもわかりきったことだ。それがなかなか今の若い人に徹底しないものとみえる。例えば老人に支給される年金問題にしても若い人からほんとに理解していただけば容易に解決されることではないだろうか。老人の年金を増額してやることは今の老人達のためになることはいうまでもないがそれがやがて若者が老人になったときのためなのである何か余命いくばくもない年寄りのために金を使うのは、もったいないことだと考えている若者がいるような気がするがそれは老人のひがみ根性かな

年をとったために腰も曲がり足も弱くなり目も耳も遠くなり歯は抜けて人造りの代用品を口の中に入れておかなければならないのが老人の実態なのだ。私も若い頃はバスの中はむしろ立っている方が快適に感じられたものだったが近頃はそれが一番つらいようになってしまった。さらに精神的には物忘れはする、よい考えは浮かばない。

全くわれながらあきれ返ることがある。先日、眼鏡を置き忘れていくらさがしても見当らず遂に七千円も出して買って来てからものの一時間もたたぬ中に嫁ぎ先から実家である私の家へ来ていた娘がひょっこり「あらお父さんの眼鏡がここにある わし」というわけで見つけてくれて大笑いしたことだった。　これに類するようなことはどこの老人家庭にもあると思うが若者もやがてそうなるのであるということを自覚して年寄りをいたわってほしいのである。若いお父さんやお母さんが年寄りをじゃまもの扱いして追い出せばその子供に親を追い出すことを教えていることゝなって自分も将来追い出される結果となるので逆に大事に扱えば将来をとっても大事にされる。昔は老人問題などそんなにやかましくなかった老人をその子供や孫がめんどう見てくれたので老後の不安なく暮せたのだろうか。

なぎさ　お祭に思う

新町　中村信作

町の最大年中行事、お諏訪さまのお祭りも、灯籠押し、民踊流し等々、にぎやかな中にめでたく終了いたしました。関係された多くの方々のご苦労に対して深く感謝をいたします。

ところで、例年のことながら、口さがない町民の間から、いろいろな批判の声が聞かれます。

それについて一言私の意見を述べたいと思います。一番大きな問題は経費の分担であります。

大ていの町村では山車とか、灯籠とか、踊りとかの費用は、青年などが各戸をまわって頂く祝儀によってまかなわれているようです。

本町でもかつてそうした傾向があったのですが、いろいろ弊害もあり、一切祝儀は頂かず、又篤志家より自発的なご寄附があっても貼り紙等で披露をしないときめたのであります。そのために灯籠協会という機関をつくって経費も各町内税金割等による分担となったのであります。

今年は保存灯籠等を出したこともありましょうか、マイクで盛んに祝儀のお礼を放送しておりました。これはいかにも祝儀強要のような感じがしてあまり愉快ではありませんでした。祭典日割りについても、今の割り方では給料生活者の負担が大きくなり過ぎると、の不満の声が多くきかれます。住民税固定資産税平等割等の按分を再検討する要がありそうです。

つぎに警察当局に要望申し上げたいことがあります。交通確保のための道路規制ですが、灯籠押し、踊りの日は表通りを歩行者天国扱い位にして頂く方法はないものでしょうか。

みなさん

鎮守の神さまを敬い郷土の発展を祈念し、しかも町民和楽の大行事として今後ともりっぱなお祭りにしていこうではありませんか。

電話が早くつきます

老人、母子家庭などの電話の申し込みは優先して架設されます。

該当する方は次のとおりです。

一、六十五才以上の一人暮らしの方

二、六十五才以上の方で未成年者、寝たきりの配偶者または心身障害者等とのみ生計を共にしている方。

三、配偶者のない女子で現に二十才未満の児童を扶養している方。

四、公害に係る健康被害の救済に関する特別措置法により認定された方。

五、心身障害の方。

六、身体障害の方。

※くわしくは電話二六〇〇番へどうぞ

小須戸町電報電話局

《こころ》

小須戸中三年　横山俊樹

ほんとうに人間は、真から信頼し合えないのだらうか。だれにも利己心はある。が、それを抑えこるとのできるのが人間ではなかろうか。

現実には、みんな自分さえよければ……　という気持ちがありありとうかがえる。バスや汽車で荷物を持って立っているお年寄りに座を譲ってやる人を見かけないし、まずいない。みんな知らないふりをしている座席を子どもにとらせておく母親を見うけることもある。そこに利己がはっきりと表われている。

利己に走らないということは、思いやりがあるということなのだが……

けれど、平素やさしい人が、急に変わることもある。特に、命やお金に関係する場合には、その変り方が激しい。だれにも過ちはあるものなのに、みんなは白い目で見る。そういうときこそ、暖いやさしい目で見守ってやらねばと思う……。そういうぼくもたぶん白い目で見るだろうけれど。

自分をよく見せようとする虚栄心は、利己心と隣り合わせている。ついついエゴに走ってしまう。

自分を抑えるだけの強い意志、克己心が必要である。

そして、エゴに走らぬよう、いっぽう思いやりのある人になりたいものである。

九月の学習に進んでご参加を

小須戸町長寿大学

酷暑も過ぎて虫の音に心をさそわれる頃となりました。九月の長寿大学は皆さんのご熱心なご活動によってすばらしい進展を続けております。どうぞいっそうの活発な活動をお願い致します。

九月十日・習字クラブ実施ずみ。

・運営委員会…九月十月の学習予定を協議検討

九月十二日(水)

・民舞クラブ・家庭科クラブ　実施ずみ

九月十七日(月)

全体学習(町議会見学)

百寿会の旅行と重なりましたが多数の出席を得て有意義の中に終了

・九月二十六日(水)

家庭科クラブ民舞クラブ午後一時老人憩いの家(家庭科は二階)

九月三十日

ハイキングクラブ

公民館と共催にて町民ハイキング大会

詳細後日連絡

幼児検診のお知らせ

対象者四十四年八月一日～四十四年十一月三十一日

検診日　九月二十六日

時間　午后一時～二時

場所　武道館

検診内容　内科歯科心の発育面

図書購入

◇モルダウの重き流れに
◇風にふかれて　五木　寛之
◇もののふ帖　柴田錬三郎
◇けったいな人びと　草木　草介
◇すばらしい人間体験す　吉田　知子
◇男はつらいよ　山田　洋次
◇愛がなくて生きられるか　広池　秋子
◇北国の女の物語上・下　水上　勉
◇でっかい青春上・下　須崎　勝弥
◇超古代王朝の発見　鈴木　貞一
◇江戸隠密帖　山手樹一郎
◇四次元への挑戦　津島　秀彦
◇故事名言辞典　折井　英治

八月句会報

小須戸町俳句同好会

受話機持つ湯上りの汗滴らし　良遊
炎天や田ぞこのヒビが白く成る　香月
川越えていよ〳〵喜雨の迫まる音　虚秋
片側は打ちているなり大夏木　ひさ
風鈴の音だけ涼し土用照り　秋蘭
枝つけて豆もって来し祭人　静花
星を追ふ子と肩ふるゝ夕涼み　芳人
終戦の想ひ出あらた夾竹桃　碧水
真上きし蜑は星に消えにけり　樫男

長寿大の発展をねがってご寄附

今般四番町某氏(ご本人のたってのご希望で特に名を秘す)より金一万円のご寄附がありました

クラブ運営費の一助にでもとのことですが、ご高志ほんとうにありがたく厚く御礼を申し上げます。

(長寿大学)

(こどもクイズ)

さあ考えて??

＝答えは、はがきで公民館へ＝

次の問題の□の中に答えを書いて公民館へお送りください。

答は、はがきで、とこころなまえ、学年も書いてください。抽せんで、五名に賞品を贈ります。

①日本一高い山は□士の山です。

②日本一長い川は□濃川です。

③日本一広い湖は□琶湖です。

前回の正解と当選者

正解は九月十五日は敬老の日　十月十日は体育の日　十一月は文化の日でした。

多数の応募者から抽選の結果、次の方々へ賞品を贈りました。

横町　浅見　和宏
上稲荷　黒井　修
五の町　佐藤　敏広
三の町　牧野　和久
四の町　矢部　渉弘

町民ハイキング

とき　9月30日(日曜日)

集合　午前9時矢代田保育所前

中食持参